



夏期講習に参加してよかった!

夏休み中、連日、学生たちはそれぞれの目的を持って頑張っていました。

そんな学生たちに

夏期講習

- ①「夏期講習を受講した理由」
- ②「受けた感想」

★小5 Hさん

- ①夏休みは勉強をあまりしなくなるので、毎日の勉強習慣を身につけ、しっかり勉強ができるようになるために受講しました。
- ②毎日の勉強時間が伸び、充実した夏休みになった。夏期講習を受けてよかったです。



★小6 Tさん

- ①学校がない日もしっかり勉強するため。受験までにしっかり力をつけておきたかった。
- ②分からなかった問題が分かるようになった。ためになってよかった。

★中1 Yさん

- ①期末テストであまり点が取れなかった教科を強くしたいと思っただから。
- ②長文を書くコツや人物の気持ちを読み解くことができるようになってきた。



★中2 Sさん

- ①夏休み中に勉強時間を取ることと、高校受験や学校の2学期のテストに向けた、家ではできないような対策をするため。
- ②対策プリントから、テストの傾向を知ることができた。また、これ

から学校の授業で出てくる内容を学習することができた。

★中3 Sさん

- ①「夏を制するものは受験を征す」と聞き、今まで受けてなかったから受けようという少しわくわくした気持ちと「だらだらしてたら高校受験失敗する」という恐怖心が入り混じって夏期講習を受けました。
- ②自分がテストで点が取れていない所、苦手科目中心に指導していただき、少しずつ苦手を克服していくことができたと思います。

★高1 Rさん

- ①高校生になって授業も難しくなったので、この夏休み中にしっかりと勉強して2学期の準備をしたかった。
- ②問題の考え方や解き方などを丁寧に教えてもらえたことで、以前よりも問題が解きやすくなったことが実感できた。

★高2 Rさん

- ①夏休み中に勉強しなくなることを防ぐため。
- ②集中して勉強でき、新しい知識も得ることができたので良かったと思う。これからの勉強に役立てていきたい。



★高3 Mさん

- ①共通テストの問題で、問いの最後のところで解けないことがあるのでそこを解けるようにするた
 - ②一つの問題でも色々な解法を使えることが学べた。
- *****
- 学力は一朝一夕につくものではないと思います。日々の努力を継続すれば必ず伸びていきます。
- がんばって!

資格取得は大切です

資格は高校受験で実績として考慮されるだけでなく、大学受験や大学入学後の単位認定制度にも活かすことができます。

小学生や受験生でない学生にとっても、検定試験は勉強に向かう気持ちを持つ良い機会です。



松進実施の検定の日程

- 10月7日(土) 英語検定
 - 10月28日(土) 漢字検定
 - 12月2日(土) 算数・数学検定
- ※松進での受験申し込み期限
英検：8月30日(水)
漢検：9月13日(水)
- ※数検の詳細は後日お知らせします。

夏休み明けテストの心得

中3生のみなさん、
「夏休みに勉強頑張ったのに点数が伸びなかった!」
こんな学生もいるかと思



います。
毎年、夏休み明けのテストは難しい問題が出題されるため、学年平均が下がる傾向にあります。



点数が上がっても学年順位が上がっていけば実力が付いてきていると言えます。

- ・広い試験範囲を全部学習し終えませんでしたか。
- ・暗記をやり終えましたか。
- 「まだそこまでは……」という学生は、夏休みの頑張りを続けて、まだやっていないことをドンドン勉強しましょう。やる時は松進の勉強方法を徹底してください。
- きつと良い結果を得られます。
- がんばりましょう!

小論&面接対策講座開催

7月27日に高校生対象の「松進式小論対策」講座を、28日には「志望理由書・面接対策」講座を実施。2022年のデータによると、大学合格者の中で、学校推薦型選抜で合格した学生の割合は27%、総合型選抜の割合は17%。

なんと、合格者の半分近くが推薦入試で合格しているのです。

合格するために小論文や志望理由書、面接は避けては通れませんが、学校や他塾の指導には具体策がないため、困って松進で学ぶようになった学生もいます。



松進には10年以上前に原塾長が独自に編み出した「目からウロコの『小論文作成法』『志望理由書・面接必勝法』があります。

今年も藤河先生が、その秘策を受験生に指導しました。
「え?こんな方法があるんだ!」
と今年も大好評でした。

以下は、参加者の感想の一部です。

▼1時間半という短い時間だったけど、講座を受ける前より格段に内容を深められたし、今後どうやって進めていけばいいかも知ることが出来ました。受講して良かったです。

▼小論文では、正直どのようにならばいいのか理解していた気がしていたが、先生の話を聞いて全然理解できていないことがわかった。この機会を知ることができてよかった。



▼自分ではよく考えられていたつもりだったが、先生との問答をしているうちに、自分の理想像や必要としているものが、自分の中ではつきりしたような感じがしたのでとても良かった。

松進のしえんしえ

カンカン照りが続くある日、
「ぶふえ、あっちなあ」
ひとりのことを言いながら事務室に入ってきたO槻先生、
「なあんて暑いんだあ?」
「夏だからじゃないです?」
とクールに答える石川先生。



「コホン、コホン」
とこっちを見てくれと言わんばかりの軽い咳をする三松先生。
「えっとですね、フエーン現象って知ってますよね、つまり……」
と知識を出し始めた三松先生を無視するかのよう

「アツク〜!」と大槻先生。
すると、コバヤン先生が
「ガリガリくんを食べたらどうです?」とポソポソ。
「あー!ガリガリくん、いいね〜」
「でも食べ過ぎてグリグリくんにならないように注意ですけど……」
とポソポソ。

笑っていると三沢先生登場。
「暑いな〜!夏ヤセを兼ねてダイエットをしているんだけど、見た感じ痩せたと思わない?どう?」
「そっすいえは痩せたよな気がしますね〜」
と藤河先生。
「え!やっぱり!とこでどこが一番やせた?ウヒヒヒ」
とうれしそうに自分の腹を見る三沢先生。



「そっすね〜。頭ですか……」
「あ、頭がやせる?ひょっとして減少中の頭の毛のこと……」
この話題になった途端に、
「グオッホ!」
と咳込み始めたYシ先生。
三沢先生とYシ先生は、髪の毛の話にかなり敏感になっているようです。(笑)

